

ニューヨーク市では誰でも 医療サービスを受けられます：

移民のニューヨーク市在住者のための よくある質問

ニューヨーク市在住者は、移民法上のステータスや支払い能力にかかわらず、質の高い医療を受ける権利があります。ご自身とご家族をいたわり、必要な医療サービスを受けてください。すべてのニューヨーク市在住者は、移民法上のステータスにかかわらず、医療や社会福祉など、市が提供する多くのサービスを利用することができます。



健康保険

どの健康保険プランに申し込めますか？

移民のニューヨーク市在住者には、多くの保険オプションがあります。ニューヨーク州に在住する子どもは、非正規移民であっても健康保険を取得することができます。ニューヨーク市保健精神衛生局（NYC Department of Health and Mental Hygiene）（ニューヨーク市保健局）には認定保険申請カウンセラーがおり、保険の申し込み資格と方法について相談することができます。詳細については、**311**まで電話で問い合わせる、**877-877**に「CoveredNYC」とテキストメッセージを送る、または nyc.gov/health/healthcoverage をご覧ください。

NYC Health + Hospitalsの施設を訪れている場合は、ファイナンシャル・カウンセラーとの面談を依頼して、あなたに合った健康保険を見つける手助けをしてもらってください。なお、希望言語でサービスを受ける権利がありますので、ぜひご利用ください。このサービスには文書の翻訳と、対面または電話での通訳が含まれます。

NYC CARE

私には健康保険の資格がありません。どうしたら医療サービスを受けられますか？

NYC Careは、健康保険を取得できない、または健康保険を支払えないニューヨーク在住者に低コストでまたは無料でサービスを提供する、医療アクセスプログラムです。NYC Careは、健康保険プランでは**ありません**。しかし、NYC Careに加入する場合にはメンバーシップカードが発行され、医療サービスにアクセスして、自分で医療プロバイダーを選択し、低コストの薬を受け取ることができます。NYC Health + Hospitalsは、すべてのNYC Careサービスを提供します。

NYC Careの料金はどれくらいですか？ NYC Careに申し込むにはどうしたらいいですか？

NYC Careの医療サービスは、世帯の人数と収入によって、低コストまたは無料になります。NYC Careに申し込むには、646-NYC-CARE（646-692-2273）に電話をするか、NYC Health + Hospitalsのいずれかの施設で、ファイナンシャル・カウンセラーとの面談を依頼してください。詳細については、nycare.nyc をご覧ください。

健康保険に加入していないニューヨーク在住者の救急医療

健康保険に加入していないのですが、救急医療を受ける必要があります。どのように支払えばいいのでしょうか？

Emergency Medicaidは、ニューヨークに在住する低所得の非正規移民と一時的な移民が緊急時に医療サービスの費用を支払う援助をします。Emergency Medicaidの資格がある移民のニューヨーク市在住者は、かかりつけ医による診察や薬などの非緊急時のサービスの費用を支払うためにNYC Careを利用することができる場合もあります。

将来の緊急時に備え、いつでもEmergency Medicaidに申し込むことができます。NYC Health + Hospitalsの施設を訪れている場合は、申し込みのサポートを提供する、ファイナンシャル・カウンセラーとの面談を依頼してください。移民法上のステータスと支払い能力にかかわらず、ニューヨークの病院では誰でも緊急医療を受けることができます。詳細については、**311**まで電話で問い合わせる、**877-877**に「CoveredNYC」とテキストメッセージを送ってください。

公的扶助

公的扶助規則とは何ですか？今も使用されていますか？

2019年8月、トランプ政権は新しい公的扶助規則を発表しました。この規則は、特定の公的給付（Medicaid、食料や住居の援助など）を受けたことのある移民、または連邦政府が、将来、公的給付に依存する可能性が高いとみなす移民が、グリーンカードやビザを取得できないようにするものです。しかし、トランプ政権の公的扶助規則は終了しました。2021年3月9日、米国国土安全保障省（U.S. Department of Homeland Security）は、2019年8月以前に定められた方針の使用に戻ると発表しました。詳細と最新情報については、nyc.gov/publicchargeをご覧ください。

公的扶助規則が自分に適用されるかどうか知るには？

公的扶助に関する質問がある場合、ActionNYCのホットライン（800-354-0365）に、月曜から金曜日の午前9時～午後6時に電話を掛け、「public charge」（公的扶助）と言ってください。迅速に信頼できる情報にアクセスでき、ニューヨーク市が後援する無料で安全な移民関連の法的支援を受けることができます。この無料のホットラインは匿名で利用でき、200以上の言語に対応しています。

移民法の執行と医療へのアクセス

私は、非正規移民です。私の医療プロバイダーは、移民税関捜査局（Immigration and Customs Enforcement、ICE）などの連邦移民当局に私のことを通報できますか？

医療プロバイダーは、移民法上のステータスにかかわらず、患者のプライバシーを保護しなければなりません。病院とクリニックは、法律で義務付けられている場合を除き、患者の許可がない限り、患者情報を共有することはありません。医療プロバイダーが移民のプライバシーを守る方法に関する詳細については、nychealthandhospitals.org/immigrantにアクセスして、H+Hの「Open Letter to Immigrant New Yorkers（移民のニューヨーク所在者宛の公開書簡）」をお読みください。

病院にICEの捜査官が来たら、どうしたらいいですか？

ICEの捜査官と話す必要はありません。ICEの捜査官がプライベートな場所（あなたの病室など）に入ろうとする場合、あなたには、ドアを閉めたままにして司法令状があるかどうかを尋ねる権利があります。司法令状は、個人や団体が何らかの行動を取ることを許可する裁判所が発行する法的文書で、裁判官が署名しています。詳細については、nyc.gov/immigrantsにアクセスして、**know your rights**（権利を知る）を検索してください。ご自身または大切な方がICEの捜査官によって拘束された場合、ラピッドレスポンス・リーガル・コラボレーティブ（Rapid Response Legal Collaborative）まで800-354-0365に電話して、無料で安全な法的支援を受けてください。